

さ
か
し
た

タイムズ

ときめき・かがやき・つながる さかした



第 239 号

夏休み、坂下公民館イベント盛りだくさん！

坂高生とトマト料理



7月11日(金)、坂下公民館講座【できることからSDGs『地元産トマトで絶品料理』】を、坂下高校との共催で開催しました。坂下高校地域探究科調理・製菓コースの生徒が講師となり、トマトについて調べたことを各自発表。その後、グループに分かれて一緒にトマトソース・トマトのおひたしなどを調理し、試食しました。この日調理に使われたトマトの生産者で、同校卒業生の平松太地さんにアドバイザーとして協力していただきました。受講された方からは、「トマトの新しい発見、食べ方を知ることができた」「生徒のみなさんに上手に教えてもらい、楽しかった」など、感想が寄せられました。



わくわく体験くらぶ in 坂下

7月23日(水)、長野県木曾郡上松町在住のイラストレーター大畑哲也さんを講師に迎え、イラスト講座を開講しました。中津川市のキャラクター『けんぱち君』をモチーフにしてイラストの基本を学んだ後、お気に入りのキャラクターを楽しく描きました。



夏休みふれあい講座

「めざそう！福祉トレジャーハンター」

7月29日(火)、坂下高校福祉棟を会場に、高齢者疑似体験セットを着けて、坂下高校の皆さんに介助されながら障害物歩行練習、車いす試乗、入浴機械体験等を行いました。この福祉体験を通して、介護を受ける人の気持ちに寄り添う大切さを学びました。

車いす体験の様子→

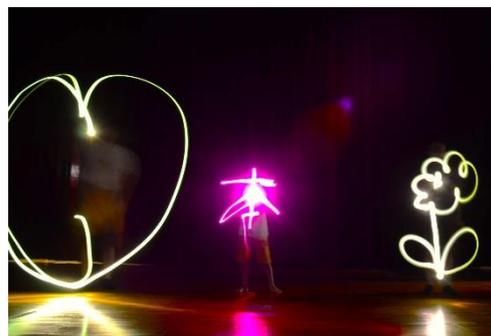


図書室まつり

7月31日(木)、坂下公民館多目的ホールで図書室まつりを開催しました。今年のテーマは【まっくらあそび】。関連の絵本の読み聞かせと、懐中電灯を使った



工作や遊びを楽しみました。懐中電灯の光でお絵描きをする遊び『ライトペインティング』では、思い思いの模様や字を描く様子をカメラで撮り、どのように写ったかみんなで鑑賞しました。当日は坂下高校地域探究科保育コースの2年生が参加し、読み聞かせや工作・遊びを一緒になって盛り上げてくれました。



乳幼児学級

「お兄さんお姉さんと遊んだよ」



8月7日(木)、ほほえみ教室に坂下高校地域探究科保育コースの2年生が遊びにきてくれました。高校生に抱っこしてもらったり、ボールプール、すべり台などの遊具や体を使って遊んだり、一緒に楽しみました。



花の湖そばの花まつり 2025 in 月の市 今年も『花の湖自然公園』で開催!



日時：9月14日(日)・15日(月・祝) 10時～15時

県内最大級の面積を誇るそば畑一面に白い花が咲くなか、人気の熱気球体験、絵手紙コンテストや新たな企画を盛り込んだ各種イベントのほか、キッチンカーなどの飲食ブースや産直コーナーが出店します。

詳しくは、ポスター・チラシをご覧ください。

☆そばの花畑自由観賞週間☆

9月16日(火)～21日(日)

問い合わせ：やさか観光協会
(月の市実行委員会) ☎75-4444

区長会通信

日頃は、区長会活動へのご理解、ご協力を頂き、ありがとうございます。

今回は、”坂下診療所の純正会への事業譲渡断念”との方針決定(7月11日)を受けて、地域住民説明会が開催されましたので、その内容についてご報告いたします。

開催日時	8月6日(水) 19時～21時
会場	坂下公民館2階多目的ホール
説明者	小栗市長・今井副市長・可知副市長・額瀨病院局長・水野医療福祉部次長・森坂下診療所事務長・古田病院局次長(司会)
出席者	やさか地区を中心に約130名の参加がありました

1) 市側から、今回の事業譲渡断念に至る理由と、今後の動きについて
＜理由＞

純正会の事業譲渡条件(採算性確保)の76床への増床(現在19床)に対して、東濃圏域地域医療構想等調整会議や関係機関などへの、納得できる説明ができないまま、基本合意の期限を迎えた。

近年の東濃圏域の病床利用率が60%前後と低く、約40%が空いており、これ以上の増床は難しいと判断した。背景として、国の方針である病床削減(病床稼働率を上げる)が大きく影響している。また、物価高や人件費の高騰等が急速に進み、坂下診療所等の経営に直結するような社会情勢の変化があった。

＜今後の動き＞

純正会とは、事業譲渡以外の協議は継続する。

今後(直近)、市は現在の診療所体制で継続する。(財政支援のもと)

市は坂下診療所の在り方を含め、市全体の医療提供体制の維持、充実につながる方向性を多角的に検討し、一年を目途に方向性を示したい。安心して医療を受けられる体制づくりに向け、市は丁寧な検討と情報提供に努める。

2) 主な質疑・応答等について

・市からの説明を受け、区長を始めとする参加者から以下のような発言がありました。

①現在の病床数(19床)で純正会に事業譲渡し、その採算割れ(赤字)分のみ市から補填することとすれば、市の負担を減らせるのではないか。

②東濃西部に比べ東濃東部は面積が広い。中津川市における医療のネットワーク(坂下診療所含む)の構築をしっかりとやっていただきたい。

③現在の診療所体制での安心運営を考えると、常勤1名・臨時2名では医師の高齢化も進んでおり心配。

⇒医師確保に向け、医局訪問、紹介会社等を利用して行っているが、確保するのは厳しい状況。(市回答)

今後とも、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

郷土文化財紹介

郷土文化財保存会会員

＜坂下の養蚕・蚕種・製糸業 その2～養蚕業1～＞

たぐち のりいち
田口 憲一

昆虫の一種である蚕の卵を育てて繭を作らせる作業を養蚕業と言います。出来た繭から生糸を生産するのが製糸業です。蚕種業は品質の良い蚕の卵を成虫の蛾から採取し、人工的に管理して都合の良い時期に養蚕農家に供給する仕事です。

養蚕農家では蚕の卵を孵化させ、蚕に桑の葉を食べさせて脱皮(だっぴ)を繰り返して繭を作るまで世話をします。

蚕が成熟すると繭を作る隙間のある「まぶし」に移動して一つの空間に一つずつ繭を作らせます。この作業を上簇と言います。蚕は内部から糸を吐いて繭を作ります。幼虫は糸を吐き終わると変態してサナギになります。繭の中で一定時間経過すると成虫の蛾になり、繭を食い破って外に出た雌雄が交尾して産卵します。このサイクルが蚕の一生です。卵の時期を除くと長くて約50日です。蚕は「おかいこさま」とも呼ばれ、とても大事にされていました。

→
桑の葉を食べる成長した蚕
この様に葉の断面からきれいに食べます



「様づけに 育てられたる 蚕かな」 一茶

このような蚕の一生に人間が手を加えて、より多くの繭を生産出来るように工夫してきました。生糸=シルクの生産は5千年ほど前中国で起こり、シルクロードを通してヨーロッパにもたらされました。

日本では、中国の歴史書『魏志倭人伝』に弥生時代には蚕を飼って糸を取っていたと書かれています。朝鮮半島を通じて養蚕と生糸の利用が伝わっていたのです。江戸時代中期、米沢藩(現在の山形県南部)の名君上杉鷹山が養蚕を推奨して藩の財政難を解決したことは有名です。

「鷹山が養蚕を推奨した。イイね!!」

この様に養蚕は江戸時代には全国で行われており、沢山のマニュアル本がありました。中でも上垣守園の『養蚕秘録』上中下は大変優れた内容で、当時フランス・イタリア語にも翻訳されていたようです。それをシーボルトが日本に持ち込んだそうです。鎖国の続く中での出来事。日本の技術輸出のトップだったと評価されています。ちなみに養蚕技術の指導書『蚕書』は江戸時代には100冊余りだったが、明治期になると2500冊以上が出版されておりいかに養蚕が普及していたかを窺わせます。

明治時代になると“富国強兵”策のもとで、急速に繭の生産量が増加し生糸の増産につながりました。世界遺産に登録された富岡製糸場(同遺産群には田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴が含まれており、養蚕と蚕種製造に関わる遺構が含まれている)は、この時期に官営で造られ製糸技術の向上と養蚕の普及に繋がりました。こうして生糸の輸出が増え外貨を稼ぎ、明治政府の貴重な財源となりました。

文化協会からののお知らせ 11月2日(日)～5日(水)に、「2025 坂下文化祭」を開催します。

「2025 坂下文化祭」出展者募集

絵画、書、木工、手芸作品など様々なジャンルの作品が出展されています。毎年多くの方が来場する会場で、ご自分の作品を発表してみませんか?文化協会所属団体以外の団体、一般からも募集しています。

募集期間：9月1日(月)～22日(月)

絵画コンクール作品募集

全応募作品を「2025 坂下文化祭」で展示します。

また、入賞作品は文化協会だよりで発表するほか、文化祭後、坂下公民館で展示します。

募集期間：10月1日(水)～20日(月)

申し込み・問い合わせ

坂下文化協会事務局

坂下公民館内

☎ 75-3115

(平日9時～17時)



毎月第3日曜日は「家庭の日」中津川市青少年健全育成推進市民会議

9月 21日 いざというとき だいじょうぶ

【1日は防災の日】

坂下高校
賢・剛・優

中学生体験入学



7月24日(木)、25日(金)、中学生対象の『体験入学』が行われました。2日間で100名を超える中学生が参加し、学校や学科の説明を受けた後、①探究入門『シン・中津川☆名物プロジェクト』②看護入門『三角巾で世界を救え、はじめての看護体験』③保育入門『かたちから、みつけた(造形作品づくり)』④製菓入門『どら焼き(焼き印)を作ってみよう』⑤福祉入門『福祉用具を使って体験しよう』の中から2つの模擬授業を受講しました。

当日は、本校の教職員だけでなく在校生も体験入学に参加し、坂下高校の魅力を伝えることができました。参加した中学生からは「先輩たちが優しく丁寧に教えてくれて、明るく楽しい印象だった」「他の高校とは異なるコースがあり、自分にあった選択ができてよと思った」などの感想をもらいました。興味をもったことを坂下高校に入学して学んでくれることに期待します。

坂下中学校
超升先輩

坂下中学生の夏休み



7月下旬、夏休みが10日ほど過ぎたタイミングで、2・3年生が『学習会』を行いました。1年生は、8月上旬に学習の進み具合を確認する日を設定しました。



夏休みの課題を着々と自分の計画に沿って進めている子、これから本格的に進めていこうと気を引き締める子、積極的に質問する子など、それぞれのペースで取り組んでいました。

また、地域の行事やボランティア活動に参加して活躍した生徒もいました。ご指導いただいた地域の方々には大変お世話になりました。中津川市全体で行われたサマーサイエンススクールやタイ研修に参加した生徒も、貴重な体験を積むことができました。夏休み明けの生徒たちが、どんな成長した姿を見せてくれるか楽しみです。

坂下小学校
ひとりだち

終業式

7月18日(金)、1学期の終業式が行われました。

3人の児童が代表して、『1学期にがんばったこと』や、『これまでの成長を振り返って』を全校児童に話しました。3人とも堂々と話す姿が立派でした。また、生徒指導主事の夏休みの安全な過ごし方についての話を真剣に聞く姿がありました。



校長先生から、「『一生懸命に話を聞く姿』に1学期の成長が見られる」と話していただきました。

話す方も聞く方も一生懸命できる坂下小の児童の1学期の成長が感じられる素晴らしい式になりました。

やさかこども園
かがやく瞳

夏まつり



7月12日(土)、保護者会主催の夏祭りが行われました。保護者会役員さんが、子ども達が楽しめるように4

月から準備を始め、夏祭りが近くなると何度も園に足を運んで用意して下さいました。当日は段ボール迷路・魚釣り・ボールすくい・ナフキン作り・フォトスポットやストラックアウト等たくさん楽しい遊びのコーナーがあり、子ども達は目をキラキラさせながら、家族と一緒に嬉しそうに過ごしていました。また、今年度は坂下高校の生徒さんがボランティアとしてサポートをしてくれました。お家の人と過ごせた夏祭りは楽しかったね。子ども達にとって、また一つ夏の思い出が増えました。

《9月の主な行事》

日	曜日	行事名	時間	場所
8	月	いきいき元気教室	13:30~14:30	坂下公民館
14	日	クリーンキャンペーン		
		椈の湖そばの花まつり 2025 in 月の市【~15(月・祝)】	10:00~15:00	椈の湖自然公園
17	水	行政・人権相談	13:00~15:00	坂下総合事務所第2庁舎
26	金	おはなしの会	10:00~11:00	坂下公民館
		定例区長会	13:30~	坂下総合事務所第2庁舎
27	土	がん検診	(予約制)	坂下総合事務所第2庁舎
29	月	やさか地区農業委員会	9:00~	坂下総合事務所
		農地相談	9:30~	

ごみの収集日

燃えるごみ	毎週月・木曜日
燃えないごみ	9月3日(水)
資源・硬質ごみ	9月10日(水)
大型ごみ	9月19日(金)
有害ごみ	9月 収集はありません

人口と世帯数(令和7年8月1日現在)

人口	3,880人(前月比10人減)
	男1,883人、女1,997人
世帯数	1,611世帯(前年比増減なし)

慶弔のお知らせ

7月11日から8月10日の坂下総合事務所への届出分(敬称略)

●ご逝去

はら原	かなめ 要	(92歳)	島平二
たざわ	しゅんさく 俊作	(97歳)	本町
はら原	かずとし 一敏	(75歳)	大門

編集・発行

中津川市 坂下総合事務所

電話	0573-75-2111
FAX	0573-75-4704
Mail	sakashita-office@city.nakatsugawa.lg.jp